

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称	
352.7	軽度生活援助事業	会計	01	一般会計		
		款	03	民生費		
基本施策	6	高齢者の健やかな生活を支える	項	02	老人福祉費	
			目	01	老人福祉総務費	
担当部課名	健康福祉部 高齢障害課		細目	102	在宅老人援護事業	
作成者氏名	榊 光裕	連絡先	22-9657	細々目	06	介護予防・生活支援事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	在宅のひとり暮らし高齢者等	軽易な日常生活上の援助を行うことにより、自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を防止する			
本年度事業内容	●伊賀市軽度生活援助事業(事業の運営は、伊賀市シルバー人材センターへ委託する) 対象者 : 市内に居住するおおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者等 事業内容 : 寝具類等大物の洗濯、家周りの手入れ又は屋内の整理・整頓、軽微な修繕等 利用負担 : 利用内容に応じて応分の負担				
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市軽度生活援助事業実施要綱

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	128	801	801
委託料	128	801	801
その他			
合計(A+B)	848	1,521	1,521
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	96	0	0
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	752	1,521	1,521
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
利用実人員	人	10	20	20			
利用時間	時間	143.5	200	200			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
対象者数/該当者	利用率を指標とする	%	20 目標 (50)	30	35
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<ul style="list-style-type: none"> 旧市町村では、社会福祉協議会に委託して実施していたところもあり、介護保険法の報酬(1時間あたり4,020円)に合わせて実施していたが、平成18年度よりシルバー人材センターのみとなった。 シルバー人材センター(1時間あたり700円～1,500円)への委託のみとすることにより、高齢者の就業促進と委託料の削減を実現した。 介護予防生活支援事業県補助金は、平成18年度では廃止。
--

評価	必要性	4	在宅の一人暮らし高齢者等では軽易な作業等で困っているニーズもあることから、支援は必要である。	総合評価 A
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		